

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 ミツ星

上場取引所 東

コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 聡一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部担当兼総務部担当 (氏名) 坂野 正芳

TEL 06-6762-6939

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,865	5.4	82	△49.0	120	△30.3	105	2.9
25年3月期第3四半期	6,515	△6.7	162	83.3	172	—	102	12.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 144百万円 (29.9%) 25年3月期第3四半期 111百万円 (43.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	18.43	—
25年3月期第3四半期	17.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	9,012	3,900	43.3	682.15
25年3月期	8,460	3,801	44.9	664.76

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,900百万円 25年3月期 3,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,053	4.3	90	△52.9	121	△55.1	105	△53.3	18.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	6,333,276 株	25年3月期	6,333,276 株
26年3月期3Q	615,550 株	25年3月期	614,850 株
26年3月期3Q	5,718,165 株	25年3月期3Q	5,719,056 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自動車等の輸出や個人消費が堅調に推移するなか、生産および雇用の回復が続き、住宅投資や公共投資も増加することにより、着実な回復傾向を辿りました。しかし、円安による材料価格の上昇により利益が圧迫されている業種や企業もみられ、個別企業の景況感にはバラツキがみられることも事実です。

海外経済については、米、欧、中国など各国がそれぞれ大きな国内問題を抱えつつも、政策の下支えにより、全体としては緩やかな拡大傾向にあります。

こうした中、当社グループは、今年度より中期経営計画をスタートさせ、経営体制の効率化を一層推進するとともに、事業拡大に向け、新規ビジネスや新製品の企画・開発等に取り組んできました。

具体的には、電線事業におけるゴム電線の新製品（S L - 2 C T）の開発、海外においては、フィリピン子会社での現地ビジネスの開拓や洪水被害のあったタイ子会社の復旧および採算の改善等、一部に相応の成果もみられています。

また、平成25年秋口から年末にかけ、公共投資や住宅投資の増加を背景に、電線・ポリマテックの両事業において販売量が増加に転じました。しかし、引き続き、顧客企業のコスト引下げニーズが強まっていることや、円安により材料価格が上昇していること等から、収益的には厳しい局面が続いています。

この結果、売上高は6,865百万円（前年同期比5.4%増）となりましたが、主力事業の利益率の低下により営業利益は82百万円（前年同期比49.0%減）、経常利益は120百万円（前年同期比30.3%減）、四半期純利益は105百万円（前年同期比2.9%増）になりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電線]

当事業の対象とするキャブタイヤケーブル市場の需要は、依然厳しいものがありますが政府の景気対策等により、平成25年秋口以降若干持ち直しの動きが出てきました。

こうした中、当社としては顧客対応の充実と個別案件の獲得に努めた結果、売上高は4,309百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

一方、利益面では、キャブタイヤ市場の競争激化に伴い、販売価格の低迷や円安による仕入価格の上昇により、セグメント利益は72百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

[ポリマテック]

当事業は、住宅着工戸数の堅調な推移や、従来その他セグメントに計上していた高機能チューブ等の販売増加、更に、タイ生産子会社の全面稼働により、事業全体の売上高は、2,050百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

一方、利益面については、円安により材料価格が上昇しましたが、国内外の増収効果によりセグメント利益は、19百万円（前年同期比41.6%増）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間より、平成25年10月1日付の組織変更に伴い、事業の種類・性質の類似性等の観点から、「その他」として開示しておりました「高機能チューブ関連商品」と「LED関連商品」につきましては、「ポリマテック」に統合しています。

これに伴い、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[電熱線]

当事業は、一部新興国向け大口輸出案件の発生など海外需要の回復を背景に、売上は徐々に持ち直し、売上高は506百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

一方、利益面では、新規事業にかかわる経費が先行的に発生したことなどの経費増もあり、セグメント損失9百万円（前年同期セグメント利益10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,759百万円となり、前連結会計年度末に比べ461百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が207百万円、売掛金及び受取手形が207百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,253百万円となり前連結会計年度末に比べ90百万円増加しました。これは主に、投資有価証券が86百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は9,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ551百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,056百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加しました。これは主に、当連結会計年度からの使用となる電子記録債務の計上214百万円と、1年内返済予定の長期借入金が88百万円増加したことに対して、支払手形及び買掛金が65百万円、短期借入金が200百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,054百万円となり、前連結会計年度末に比べ422百万円増加しました。これは主に長期借入金が372百万円、繰延税金負債が29百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,111百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,900百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加しました。これは主に利益剰余金が59百万円、その他有価証券評価差額金が53百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.3%（前連結会計年度末は44.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(在外子会社等の収益及び費用の本邦通貨への換算基準の変更)

前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より、在外子会社の収益及び費用について、決算日の直物為替相場により円貨に換算する方法から期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更いたしました。この変更は在外子会社における前第4四半期連結会計期間において急激な為替相場変動があったため、収益及び費用についての原則的な換算基準である期中平均の直物為替相場を用いることにより、一時的な為替相場の変動による影響を排除し、在外子会社の期間損益計算をより適正に行うために実施したものであります。

この結果、遡及適用を行う前と比べ、前第3四半期連結累計期間の売上高が0百万円増加し、営業利益が3百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ0百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	859,489	1,067,461
受取手形及び売掛金	2,844,787	3,052,131
電子記録債権	—	75,084
商品及び製品	974,300	913,707
仕掛品	195,188	192,249
原材料及び貯蔵品	293,775	332,849
その他	130,585	126,220
貸倒引当金	△552	△522
流動資産合計	5,297,574	5,759,181
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,946,818	1,950,160
その他（純額）	805,745	804,149
有形固定資産合計	2,752,564	2,754,309
無形固定資産		
投資その他の資産	5,503	12,117
投資有価証券	362,606	448,989
その他	46,689	42,083
貸倒引当金	△4,482	△4,482
投資その他の資産合計	404,813	486,589
固定資産合計	3,162,881	3,253,016
資産合計	8,460,456	9,012,198
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,217,609	1,152,334
電子記録債務	—	214,709
短期借入金	980,000	779,874
未払費用	38,408	39,090
未払法人税等	29,770	10,972
賞与引当金	71,369	70,978
その他	689,451	789,010
流動負債合計	3,026,610	3,056,970
固定負債		
長期借入金	1,024,128	1,396,199
退職給付引当金	292,227	305,038
役員退職慰労引当金	254,578	253,870
その他	61,509	99,784
固定負債合計	1,632,443	2,054,891
負債合計	4,659,053	5,111,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,596	1,133,596
利益剰余金	1,581,176	1,640,826
自己株式	△148,258	△148,417
株主資本合計	3,703,033	3,762,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,380	135,164
為替換算調整勘定	16,988	2,646
その他の包括利益累計額合計	98,369	137,811
純資産合計	3,801,402	3,900,335
負債純資産合計	8,460,456	9,012,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,515,682	6,865,834
売上原価	5,246,663	5,672,796
売上総利益	1,269,019	1,193,037
販売費及び一般管理費	1,106,858	1,110,271
営業利益	162,160	82,766
営業外収益		
受取利息	256	192
受取配当金	7,619	8,323
受取家賃	1,980	6,910
仕入割引	6,121	5,874
為替差益	22,766	45,669
その他	12,698	12,417
営業外収益合計	51,441	79,387
営業外費用		
支払利息	28,202	24,425
売上割引	12,020	13,902
その他	472	3,258
営業外費用合計	40,695	41,586
経常利益	172,907	120,567
特別利益		
固定資産売却益	1,195	38
投資有価証券売却益	—	6,111
特別利益合計	1,195	6,149
特別損失		
固定資産除却損	1,767	1,494
投資有価証券評価損	48,068	—
特別損失合計	49,835	1,494
税金等調整前四半期純利益	124,267	125,222
法人税、住民税及び事業税	22,609	14,056
法人税等調整額	△756	5,769
法人税等合計	21,852	19,825
少数株主損益調整前四半期純利益	102,414	105,397
四半期純利益	102,414	105,397

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	102,414	105,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,370	53,784
為替換算調整勘定	△7,298	△14,341
その他の包括利益合計	9,071	39,442
四半期包括利益	111,486	144,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,486	144,840

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3 四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,119,177	1,910,651	485,852	6,515,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,342	293	3,060	7,696
計	4,123,520	1,910,944	488,912	6,523,378
セグメント利益	138,784	13,908	10,419	163,112

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	163,112
全社費用（注）	△951
四半期連結損益計算書の営業利益	162,160

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,309,371	2,050,004	506,457	6,865,834
セグメント間の内部 売上高又は振替高	959	—	267	1,226
計	4,310,331	2,050,004	506,724	6,867,061
セグメント利益又は損 失（△）	72,920	19,696	△9,849	82,766

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（在外子会社等の収益及び費用の本邦通貨への換算基準の変更）

「会計方針の変更」に記載のとおり、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より、在外子会社の収益及び費用について、決算日の直物為替相場により円貨に換算する方法から期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べ、前第3四半期連結累計期間の「電線セグメント」の売上高は15千円増加し、セグメント利益は3,213千円減少しております。また、「ポリマテックセグメント」の売上高は234千円増加し、セグメント利益は407千円減少しております。

（セグメント区分の変更）

当第3四半期連結会計期間から「その他」として開示しておりました「高機能チューブ関連商品」と「LED関連商品」につきましては、平成25年10月1日付の組織変更に伴い、内部管理上における事業の種類・性質の類似性等の観点から「ポリマテックセグメント」に統合しました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。